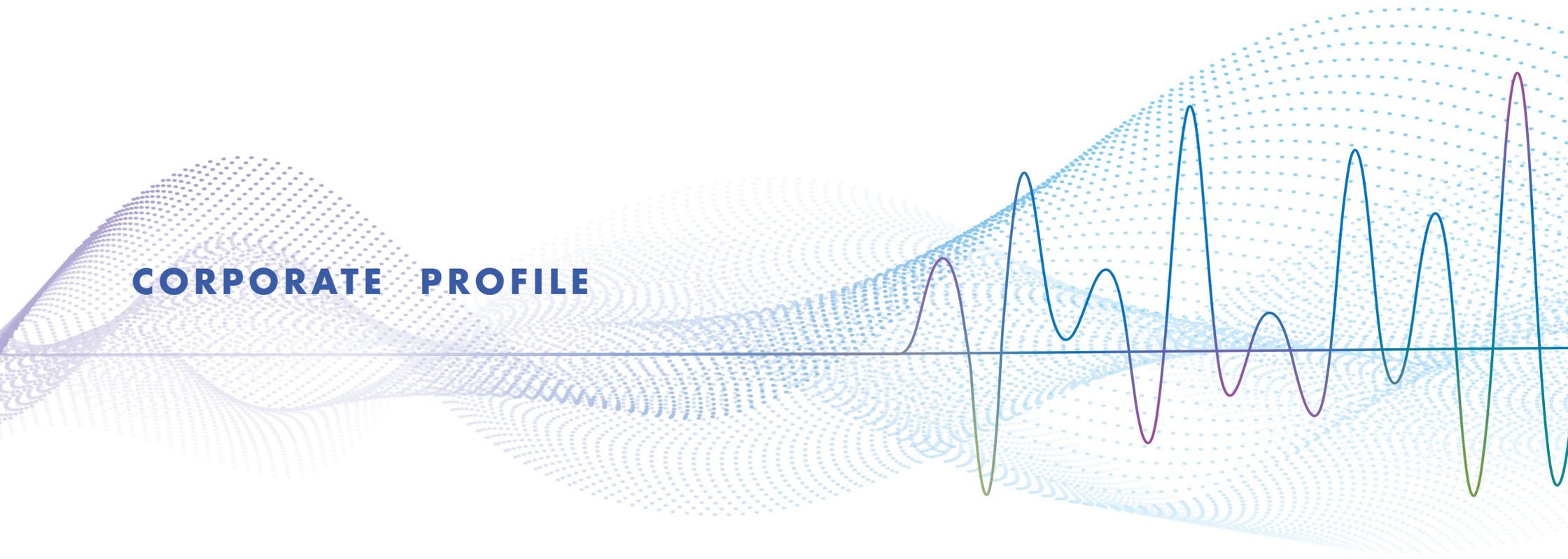


CORPORATE PROFILE



世界各国の知見をつなげて グループ一体経営を加速し、 脱炭素社会の実現へ貢献する

日置電機株式会社
代表取締役社長

岡澤 尊宏

Takahiro Okazawa

2025年、当社は創業90周年を迎えました。「感謝と未来」をテーマに掲げ、HIOKIを支えてくださるすべての皆様（お客様やお取引先様、海外社員のご家族など）へ感謝をお伝えする機会を重ね、多くの笑顔に出会えたことが何よりの収穫でした。皆様から寄せられた期待を肌で感じ、「日置電機」という枠を超えた「HIOKIグループ」として次代を切り拓く覚悟が、より一層明確になりました。

この決意を形にすべく、行動指針「HIOKIグループポリシー」を策定しました。海外マーケティング機能の強化に加え、グローバル拠点を含めた「グループ一体経営」を加速させます。現

在、海外販売拠点は11か国へと拡大し、中国、シンガポール、南北アメリカを中心に地域特性に応じた施策を磨き上げるとともに、拠点同士が自律的に学び合い、知見を共有する“横の連携”が、グループの新たな強みとなっています。

こうした総合力を結集し、長期経営方針「ビジョン2030」を残り5年で完遂すべく、進捗の数値化・見える化を徹底します。2027年までは現在の延長線上で顧客価値の最大化を追求し、2028年から2030年にかけては新技術を活用した革新的な計測ソリューションにより、さらなる飛躍を目指します。その実現に向け、「コンポーネント・バッテリー・エネルギー・モビリティ」

の4市場にリソースを集中し、電気エネルギーの安全で有効な活用を通じて脱炭素社会の実現に貢献していきます。環境経営では、2025年にスコープ1・2の投資対応型カーボンニュートラルを達成しました。次なる挑戦である2035年までのスコープ3の実現に向け、取り組みを一層推進します。

創業100周年を迎える2035年へのビジョンは、次代を担う世代が主体的に描くべきものと考えています。そのためにも、人材の流動化と育成を加速し、多様性が息づく組織で「Excellence in balance（高い次元での調和）」を体現しながら、100周年、そしてその先へと挑み続けます。

創業100年に向け、 “産業のマザーツール”電気計測器で 社会のイノベーションを加速



HIOKIの活動は、1986年に制定された「人間性の尊重」と「社会への貢献」の企業理念に基づいており、この理念を礎とした“理念ドリブン”の考え方は、HIOKIグループ全社員に深く浸透しています。

長期経営方針「ビジョン2030」では、HIOKIの存在価値と目指すべき未来像を描いています。脱炭素社会の実現に挑むお客様の電気計測ニーズを的確に捉え、イノベーションを推進していくことが私たちの使命です。

この目標を達成するためには、時代の一步先を見据え、全社員が「ソリューションクリエイター」として自ら考え行動することが求められます。HIOKIはこれまで、多種多様な製品を展開し、多くのニーズに応えてきました。これらの製品群が山々のように連なる「アルプス型」企業として、今後もそれぞれの分野でニッチトップを目指し、成長を続けていきます。

▶ HIOKIの理念

人間性の尊重

HIOKIは、個人の創造性や個性を育み、社員一人ひとりが輝く自己実現の場となるために、可能性や能力を最大限に発揮できる自由闊達な環境をつくります。個人の成長がHIOKIの成長の原動力となり、永続的に成長発展していくために、個人の可能性と組織の目標を高い次元で調和させる「人間性尊重の経営」を実践しています。

社会への貢献

HIOKIはメーカーとして、社会に必要とされる高品質の製品と最高のサービスを提供することで、社会の安心と発展、人々の幸せに貢献します。また、地域社会の一員として、教育・文化・環境面でも貢献できる企業となるべく、育成支援や環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

▶ 長期経営方針「ビジョン2030」

ミッション [HIOKIの使命]

電気計測を通してお客様の安全で有効なエネルギー活用を促進し、社会の安心と発展に貢献する。

ビジョン [ありたい姿]

「測る」の先へ。

HIOKIは、業界のフロントランナーとして「測る」を進化させ続け、世界のお客様と共に持続可能な社会をつくるソリューションクリエイターになる。



全社員がソリューションクリエイターを目指す

「ビジョン2030」では、お客様とともに持続可能な社会をつくるソリューションクリエイターとなることを掲げています。全社員がお客様との信頼関係を築き、その課題解決に向けて自ら考え、行動できるようになることを目指しています。こうした取り組みにより、年々高まるお客様の期待に応え、イノベーションを生み出し続けます。



「測る」と共に走り続ける HIOKIのあゆみ

1935年の創業以来、積み重ねてきたHIOKIの創造と挑戦の歴史。

電気計測一筋で事業を展開し、お客様のご期待を上回る価値を創造するために、独自技術の追求と新製品開発に力を注ぎ続けてきました。根幹となるこの考えを、来たる100周年とその先のステージへと繋いでいきます。

1945

戦火により長野県坂城町に移転



1952

日置電機株式会社設立



1978

国内初の「クランプ式電力計3133」
オイルショック時の省エネ推進に貢献



1970年代のオイルショック時、省エネ推進のため開発された国内初のクランプ式電力計。誰でも安全・簡単に電力測定が可能になり、工場の電力コスト減をもたらすなど、産業界から圧倒的な支持を得ました。

1985

創業50周年記念式典を開催



1993

HIOKIロッジ(社員寮)竣工



1935

1950

1970

1990

指示電気計器を原点に製造能力を拡大



創業期 1935-51

1935年、東京都港区で日置美三が指示電気計器(メーター)を製作したことが当社の原点です。その後、日置電機計器製作所を設立するも、1945年に第二次世界大戦の戦禍から逃れるため長野県坂城町に拠点を移すことに。翌年には回路試験器(テスタ)の第一号器を発売し、わが国の復興と共に順次製造能力を拡大させ、会社設立への弾みをつけました。

会社設立後は量産技術を軸に輸出も振興



量産期 1952-72

1952年に日置電機株式会社を設立し、米国MIL規格によるマルチテスタの大量受注を獲得。独自技術によるテスタと指示電気計器の量産を主軸とする事業を継続しつつ、新たな事業展開を模索していました。その後、オーディオブームを背景にVU計の量産を開始。創業当初から海外市場に活路を見出し、輸出の振興と大量生産が事業の軸に。

自社ブランド製品の開発により基盤を築く



展開期 1973-1990

これまでの量産を軸とした体制から、「自主技術の確立」と「経営の近代化」を基本方針に高付加価値商品を自社の力で生み出していく体質への転換を目指しました。1980年代には波形記録装置と自動試験装置が加わり、現代の経営基盤となる製品カテゴリーが確立されました。また、1990年に新本社工場「HIOKIフォレストヒルズ」が完成し長野県上田市に移転。

1996
ビルや施設でのバッテリー測定器
「バッテリーハイテスタ3550」



ビルや施設でのUPS(無停電電源装置)需要の増加と共に、バッテリーのメンテナンスの重要度も急上昇。お客様の要望にお応えし、UPSを停止せずにバッテリーの劣化状態を瞬時に判定できるテスターが誕生しました。

2007
中国に日置(上海)
商貿有限公司を設立



2015
HIOKIイノベーション
センター竣工



2019
脱炭素社会の実現に寄与する
「電極抵抗測定システムRM2610」



今まで実現が難しかった抵抗特性の数値化に成功。電極シートの特性や品質傾向などの把握が容易になり、リチウムイオン電池の品質と開発効率向上をもたらし、脱炭素社会の実現に寄与しています。

2024
上田第二工場の開設で
生産能力を大幅に増加



1998
アメリカにHIOKI USA
CORPORATIONを設立



2006
本社工場隣に新工場
(ソリューションファクトリー)完成



2014
世界初! 金属非接触で電力を安全に測定する
センサを用いた「クランプオンパワーロガーPW3365」



安全な測定を求めるニーズにより、絶縁された被覆電線の上からはさむだけで正確に電圧測定できるセンサを用いた「クランプオンパワーロガーPW3365」を開発。従来、懸念されたショートや感電事故を回避し、測定の安全性に大きく貢献しました。

2020
長期経営方針
「ビジョン2030」を発表



2025
創業90周年



2000

2010

2020

2025

オンリーワン商品を武器に株式市場を切り開く

強化期 1991-2004



1991年に株式店頭公開、2003年には東証一部上場。メモリハイコーダ、超高速フライングプローブテスター、バッテリーテスターなどのオンリーワン商品を次々と市場に投入しました。また、米国市場での販売強化を目標に、アメリカに現地法人を設立し力強い営業活動を展開。HIOKI祭りを初開催するなど、地域社会への貢献にも取り組みました。

新創業元年を宣言し、海外展開を加速

挑戦期 2005-2019



「高付加価値企業を目指す」をスローガンに、技術部門のみならず製造、営業、総務部門に至る全ての部門で独自の取り組みを進め、体質強化に取り組みました。事業のグローバル化を促進するために2007年以降は中国、インド、シンガポール、韓国に販売子会社を設立。また、研究棟「HIOKIイノベーションセンター」を建設し、さらなる技術力や商品力の向上を目指しました。

「ビジョン2030」の実現に向け変化の時代へ

進化期 2020-



VUCAの時代に社会から必要とされる企業であり続けるために、長期経営方針「ビジョン2030」を掲げ、グロースターアップ経営に取り組んでいます。新工場の開設により生産能力を向上。2024年には新たな組織を設置し、グローバル化を強化するための組織改編も行いました。また、お客様との協力を加速させるための施設も新設し、挑戦を続けています。

地球規模の社会課題に 「測る」で挑む

創業時から磨いてきた電気計測のコア技術をベースに、最新技術を融合させたソリューションを展開。持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境破壊やエネルギー問題など、地球規模で起こる社会課題の解決を支えています。

HIOKI

世界に誇る コア技術

自動試験装置

電子回路基板や
部品内蔵基板の検査に



記録装置

電気機器の開発や
設備の異常監視に



電子測定器

電子部品・バッテリーの検査や
省エネ、電源の品質評価に



現場測定器

電気工事・設備の
保守点検に



コンポーネント
市場

P.7へ

電子廃棄物の
増加

インフラの
老朽化

電力不足

エネルギー市場

P.8へ

地球温暖化

モビリティ市場

P.9へ

化石燃料
依存

バッテリー市場

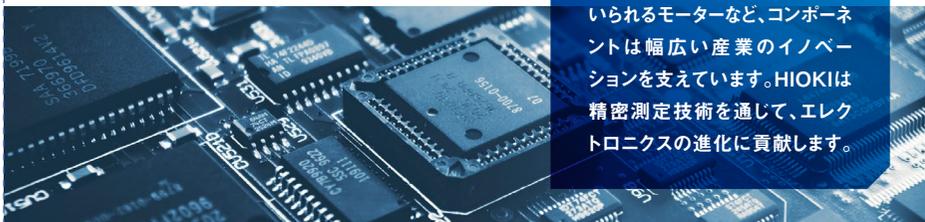
P.7へ

大気汚染

「測る」から始まる HIOKIの注力市場

培ってきた「測る」技術を用いて、さまざまな分野の研究開発の進歩に貢献。
社会のニーズに合わせて、HIOKIのマーケットは大きく広がっています。

エレクトロニクスの進化を支える コンポーネント市場



抵抗器やコンデンサーなどの電子部品、電気自動車、空調設備(HVAC)、生産用ロボットに用いられるモーターなど、コンポーネントは幅広い産業のイノベーションを支えています。HIOKIは精密測定技術を通して、エレクトロニクスの進化に貢献します。

品質に妥協しない 高速生産試験

PCやスマートフォンなどのスマートデバイスには、何百、何千もの電子部品が搭載されています。製造現場で行われる出荷検査で求められるのは、スピードと精度です。HIOKIのインピーダンスアナライザは、その両方を兼ね備えた測定器であり、品質に妥協することなく大量の生産テストを実施することができます。



インピーダンスアナライザ IM3570

モーターの 信頼性と生産性を向上

電気自動車、空調設備、生産用ロボットに搭載されるモーターを長期間にわたり安定して使用するためには、出荷前の静的検査で品質を担保することが重要です。HIOKIは、巻線抵抗、絶縁抵抗、インダクタンス、インパルス試験(レアショート試験)、部分放電などの静的特性を正確に評価し、モーターの信頼性向上と生産向上に貢献します。



部分放電検出器 ST4200

あらゆるイノベーションの原動力 バッテリー市場



バッテリーは、スマートフォンや電動モビリティ、再生可能エネルギーの貯蔵など、多岐にわたるシーンで不可欠な存在です。バッテリーを安心・安全に使用するため、HIOKIは研究・開発、生産、メンテナンスまで、各工程をカバーする包括的な計測ソリューションを提供しています。

次世代バッテリー開発を促進

電気自動車の普及拡大には、高品質な次世代バッテリーの開発が欠かせません。HIOKIの電気測定器は、バッテリーに使用される粉末、スラリー、電極シートに電気を流して測定することで、その電気的特性を評価することができます。これにより、次世代バッテリーの充電時間の短縮や寿命向上に向けた研究を促進します。



粉体インピーダンス測定システム

高精度検査装置で 大量生産を実現

太陽光発電システムなどに使用され、大量生産が求められるバッテリーの製造現場は、スピードと精度に優れた検査装置が必要とされています。大量生産ラインの業界標準となっているバッテリーテスターや、潜在的な不良要因を検出する絶縁抵抗試験器などHIOKIの高精度検査装置により、バッテリーの安全性と品質を担保します。



バッテリーテスター BT6075

正確な状態把握で 適切なメンテナンスが可能に

市場に出荷されるバッテリーには、長期にわたり安定した動作が求められます。バッテリーを安全に使用するためには、製造者の品質保証に加え、現場での適切なメンテナンスが欠かせません。HIOKIのバッテリーテスターは、正しい計測を妨げるノイズの影響を受けにくい設計で内部抵抗や開放電圧を測定。バッテリーの状態を正確に把握し、メンテナンスの精度を高めます。



バッテリーテスター BT3554-50

環境変化への挑戦

エネルギー市場



再生可能エネルギー、スマートグリッド、電化の進展など、エネルギー環境は大きな変革期を迎えています。安定的で効率的かつ信頼性の高いエネルギーの未来を支えるため、さまざまな測定ツールを提供しています。

太陽光発電システムの安定稼働を実現

脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電の需要はますます高まっています。システムの大規模化や発電効率向上に伴い、高電圧化が進んでいます。高電圧システムの点検を安全に行うための直流高電圧プローブP2010や、太陽光パネルの不良判別に役立つ高電圧絶縁抵抗計IR5051など、HIOKIの現場測定器は、太陽光発電システムの保守、点検を支援します。



電源品質の問題を特定

電圧降下、高調波など、電源品質に問題が生じると、機器の誤作動や故障、最悪の場合は発火などの事故につながります。HIOKIの電源品質アナライザは、電源ラインで発生する事象を測定し、いつ・何が起きたのかを記録、解析します。工場や家庭で安全に電気を使用するための保守、点検に役立ちます。



電源品質アナライザ PQ3198

水素生産技術の進歩を支援

CO₂を排出しないクリーンなエネルギー源として、世界的に注目されている水素。水素社会の実現には、水電解装置の主要部品である電解セルの性能向上が不可欠です。革新的な計測システム「ALDAS」は、これまで困難だった大型電解セルのインピーダンス（電気抵抗）測定を可能にし、水素製造技術の進歩に貢献します。



ALDAS-Mini

開発秘話

大型水電解装置の性能を可視化。
水素エネルギーの社会実装を、
電気計測ソリューションで後押し

R&D本部 計測ラボラトリー
水素エナジーソリューション課

笠井 真



2022年に社内ベンチャー制度を利用し、水素関連ビジネスの専任チームを4人で立ち上げました。きっかけはお客様の声でした。次世代エネルギーとして注目される水素ですが、普及に向けては、まだまだ生産コストが高いことが大きな課題です。コストを下げるために、水を電気分解して水素を生産するための「水電解技術」に関する研究開発が行われていますが、大規模化に伴い、その性能を測る計測器がなくて困っているという話を伺いました。一人の技術者として、「できないことを、できるようにしたい」という思いが生まれました。

そこで、HIOKIが培ってきたインピーダンス（電気抵抗）計測の技術と、高電圧・

大電流を扱う技術を融合させて開発したのが「ALDAS」です。水素に対する知見がなかったため、自分たちで勉強し、またお客様のもとに何度も足を運び、対話を重ねながら開発を進めました。

ALDASによって、大型水電解装置の性能を可視化できたことで、お客様からは驚きや喜びの声をいただき、引き合いも増えた結果、2024年5月には水素エナジーソリューション課として正式に組織化されました。私たちの提供する計測技術によって、水素エネルギーの研究開発も加速するはず。チーム結成当初から掲げている「電気計測ソリューションで水素エネルギーを社会実装フェーズへ」というビジョンの実現を目指していきます。

電動化の課題を解決 モビリティ市場



カーボンニュートラルの実現に向けて、自動車、二輪車、農業機械、船舶などモビリティの電動化が加速しています。それによって開発現場でエンジニアが直面している新たな課題に対し、革新的なソリューションを展開しています。

電動モーターの性能を最適化

電動モビリティに使用されるモーターやインバーターは、より効率的で信頼性の高い製品を開発するために各メーカーで性能試験が行われています。HIOKIの高精度パワーアナライザは、モーターやインバーターの電力変換効率測定において世界最高クラスの測定精度を誇り、開発に欠かせない存在となっています。



パワーアナライザ PW8001



パワーアナライザ PW4001



AC/DCカレントプローブ CT6834

熱マネジメントに最適

駆動システムやバッテリーの高性能化に伴い、熱の制御は車両の安全性と快適性に直結する重要課題です。HIOKIのデータロガーは、温度・電圧・電流・振動など複数のセンサー情報を高精度かつ同期して記録することが可能。バッテリーやパワーユニットの熱特性を正確に把握し、冷却設計の最適化を支援します。



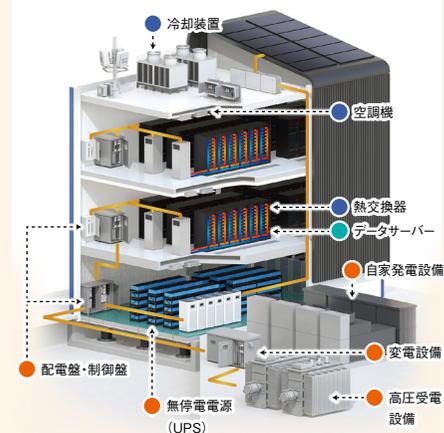
メモリアイロガー LR8450

エネルギー消費を正確に測定

電気自動車の電費の基準は、年々厳しくなっています。これに対応するためには、エネルギー消費量を正確に測定することが不可欠です。HIOKIが提供する高精度クランプ型電流センサーやパワーアナライザなどの測定ソリューションが、その精密な測定を可能にしています。

データセンターを支える HIOKIのソリューション

世界的なクラウド利用の拡大とAI技術の進化により、データセンターの建設ラッシュが続いています。しかし、これによる電力消費の増大が喫緊の課題となっています。一瞬たりとも停止が許されないデータセンターの、安定的かつ効率的な運用をHIOKIが支えています。



電力供給設備 莫大な電力を安定供給

高圧受電設備・自家発電設備・変電設備

送電網から受電、長時間停電時の電源バックアップ



電源品質アナライザ
電源設備の
品質を確保



抵抗計
受電設備の接続部を
(バスバー)点検



AC/DCクランプメータ
AC/DC大電流測定



バッテリースタ
バッテリーの
状態把握 (保全)



バッテリースタ
バッテリーの
開発評価&
量産検査



メモリアイロガー
設備の動作監視

配電盤・制御盤

各設備に電力を分配

空調冷却設備

データサーバーの稼働で生じた熱を冷却

空調機・冷却装置・熱交換器



メモリアイロガー
温度や電力の変動を長期記録



データロガー

サーバー機器

膨大なデータを処理・保管

データサーバー



バッテリースタ
バッテリーの開発
評価&量産検査



インバータ
アナライザ
電子部品の
開発評価



フライング
プローブスタ
電子部品の
量産検査



パワーアナライザ
電力の記録解析

グループ一体経営で 世界の技術開発に貢献

1998年に初の海外拠点を開設して以来、HIOKIはグローバル視点で製品開発や販売網の構築に取り組んできました。現在では、販売拠点を11か国、販売店を30か国以上に展開し、海外売上高比率は60%を超えるまでに成長しています。

- グループ会社本社
- グループ会社主要拠点

EUROPE

ヨーロッパ

売上高 **25億円**

HIOKI EUROPE GmbH
(2017年設立)

- バッテリー市場、脱炭素エネルギー関連を中心に、HIOKIソリューションの不可欠性を強みに浸透させていく。

アジア

売上高 **191億円**

ASIA

インド

HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED (2016年設立)

- Make in India政策の加速で製造業の投資増を見込む。特にEV市場における自動車、電池関連の成長が期待される。

アラブ首長国連邦

HIOKI MEA FZCO (2024年設立)

- 再生可能エネルギー発電事業が急速に拡大。脱炭素分野への積極投資が見込まれ、エネルギー効率を求める分野への測定器需要が高まる。

中国

日置(上海)測量技術有限公司 (2007年設立)

- 電池メーカーの海外シフト、全固体などの新技術開発が進展。
- EV分野に加え、eVTOL、人型ロボット、データセンターなど、成長産業を深耕。

韓国

HIOKI KOREA CO., LTD. (2012年設立)

- 脱炭素化に向けた電動化関連業界の需要が拡大。

JAPAN

日本

売上高 **147億円**

国内拠点については P.12へ

台湾

台湾日置電機股份有限公司 (2018年設立)

- 電子部品メーカーが多い台湾で市場を深耕。
- エネルギー効率を求めるAIサーバー関連市場に注力。

東南アジア

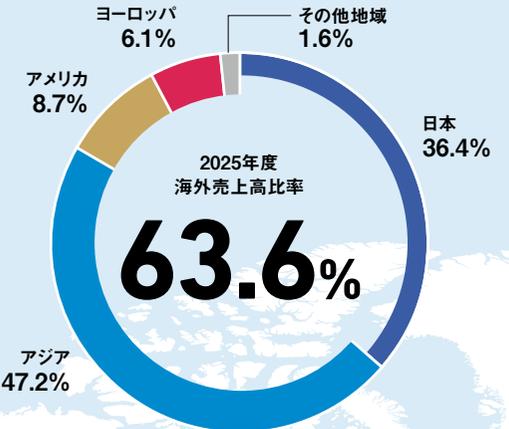
HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. (2010年設立)

PT. HIOKI ELECTRIC INDONESIA (2023年設立)

HIOKI ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD. (2024年設立)

HIOKI ELECTRIC VIETNAM COMPANY LIMITED (2025年設立)

- EVやバッテリー関連市場へ注力。重点顧客への案件創造や関連企業、団体、大学などとの関係強化を図る。
- データセンター関連のエネルギー市場をさらに深耕し、新規国・地域への展開を推進。
- インフラ、電子部品などのポテンシャル市場への深耕を加速。



アメリカ

売上高 **35億円**

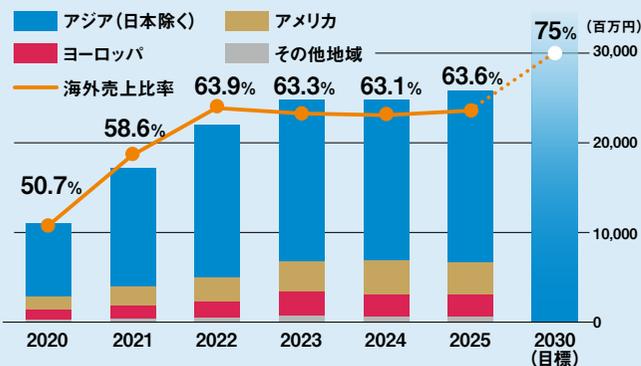
HIOKI USA CORPORATION
(1998年設立)

- AI市場の成長により、データセンター市場が活況。合わせて電力市場の成長が見込まれる。

地域ごとの「測る」ニーズに応える 各国での取り組み

HIOKIでは、海外市場においても現地社員と密に連携し、地域ごとに異なる「測る」のニーズをリアルタイムに把握。その声を新製品開発へフィードバックすることで、より精度の高いソリューションの提供を可能にしています。

海外売上高と海外売上高比率



グローバル強化に向けた3つの施策

- プロダクト&マーケティング部門の設立
- 技術開発部門の役割を再定義
- グローバルDX推進部の設立

海外売上高比率75%以上の達成に向け、3つの大きな組織変更を同時に行いました。これにより、多様化する世界のお客様のニーズを把握し、企画へつなげる機能や、製品開発だけでなく技術開発に特化した体制を強化。また、DXを推進することで、国単位では見えにくい各エリアの動きを迅速に捉え、ニーズを形にするまでのスピードを大幅に高めています。

CHINA

高精度な戦略・投資を可能にする 日置上海の新たな営業体制

日置上海は2020年に海外初の開発拠点を設立して以来、技術者が直接ヒアリングをしながら製品を企画・研究することで、成長著しい中国において「お客様の近くでタイムリーに製品を開発する」体制を築いてきました。

販売面ではお客様理解をより深めるため、営業体制を「地域別営業」から「市場別営業」へと転換。お客様との情報交換の密度・深度を高め、戦略的投資やソリューション提案を行ってきました。

今後は、バッテリー市場やEV分野に加え、自然エネルギー、人型ロボットやデータセンターなどの成長産業への戦略的投資を進めていきます。また、CRMの本格導入によりデータドリブンの顧客創造を推進し、潜在ニーズを逃さない開発力と、顕在ニーズを捉える営業体制で、不可欠な計測ソリューションを提供していきます。



SINGAPORE

東南アジア市場での体制強化と 持続可能な未来への挑戦

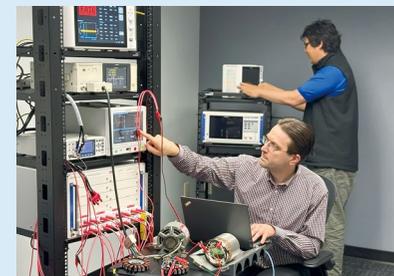
HIOKI SINGAPOREは2025年、組織として大きな転換期を迎えました。新オフィスへの移転により、快適で生産性の高い職場環境を整備するとともに、2023年からの3年間でインドネシア、タイ、ベトナムの拠点が順次独立し、現地法人として自立した運営体制を確立。それぞれの市場で着実な成長基盤を築いてきました。2026年は、新たなスタートとなる一年です。営業・技術・マーケティングを統合したチーム体制のもと、シンガポール、マレーシア、フィリピン、オセアニア市場における販売活動をさらに強化していきます。また、再生可能エネルギー分野への注力を継続するとともに、新興製造業の発展を見据えた取り組みも加速させます。アジア太平洋地域において、HIOKIの計測技術を通じてお客様とともに成長し、次なる挑戦に向けて歩み続けます。



AMERICA

北米・南米のあらゆるニーズに お客様との対話を通して応える

北米地域は、五大湖周辺で自動車産業、東西海岸地域で先端テクノロジーやバッテリー関連産業と地場産業が発展しています。加えて、広い地域でエネルギー関連のメンテナンス市場が展開するなど、多種多様なニーズが存在するエリアです。一方、中南米地域はインフラ産業を中心としたメンテナンス市場が主要マーケットとなっています。メンテナンス市場で使用される現場測定器は、主にディストリビューションネットワークを通じて販売していますが、複雑な課題解決が求められる場合には、販売営業が直接お客様の声を伺いながらソリューション提供を行っています。2025年にはミシガンオフィスにテクニカルセンターを設置し、お客様との対話を促進する体制を整えました。業界トップのお客様との接点を拡大し、関係構築を進めていきます。



顧客密着型の拠点で HIOKIの不可欠性と存在価値を 付加したソリューションを提供

HIOKIの強みは、お客様のニーズに応える高品質な製品をお届けできること。
それを可能にするのは、長野県上田市の本社を中心に広がるHIOKIのネットワークです。
各地域を起点にお客様の声を直接伺いながら進める姿勢で、
課題解決に不可欠な存在となれるようお客様に寄り添います。

中部エリア

主な対応領域：さまざまな業種、主に電子部品(生産)

中国エリア

主な対応領域：コンデンサー(生産)、自動車(開発、生産)



- 本社
- 坂城工場
- 上田第二工場
- 長野本社SSH

東北エリア

主な対応領域：電子部品(開発、生産)

関東エリア

主な対応領域：さまざまな業種の研究開発(パワーエレクトロニクスや水電解装置など)

東海エリア

主な対応領域：自動車業界(開発、生産)、パワーエレクトロニクス(開発、生産)

関西エリア

主な対応領域：電子部品(開発、生産)、バッテリー(開発、生産)

- …SSH (Sales & Solution Hub)
マーケット軸に重点を置いたテクニカルセンターを設置し、市場別のテクニカルサポートおよびセールスサポートを提供
- …SEO (Sales Expert Office)
顧客密着により顧客満足度の高いセールスサポートを提供



緑豊かな環境で生き生きと自発的に挑戦

HIOKIフォレストヒルズ

「HIOKIフォレストヒルズ」には開発、生産、および販売・サービスを担う全部門が集結。世界に向けて計測の先進技術を提供できる環境を構築しています。また敷地内には、各種スポーツ施設やHIOKIロッジ(社員寮)を備え、仕事だけでなく趣味やプライベートも充実させることで、個人の力を最大限に発揮できる環境を整えています。

お客様とのさらなる協創を目指す

協創ラボラトリー [本社]

横浜テクニカルセンター

[東日本SSH]

名古屋テクニカルセンター

[東海SSH]

大阪テクニカルセンター

[西日本SSH]

社会の変化に対応し、革新的計測ソリューションを具現化するために協創施設を設立。多彩な測定設備を整えたオープンラボ「テクニカルセンター」や研究棟の一部を開放した「協創ラボラトリー」で、お客様や協業各社様と新たな課題の発見と解決を推進していきます。





社員自身の「パーパス」を尊重。 「ビジョン2030」の実現に貢献する HIOKIの人づくり

HIOKIは1986年に制定された「人間性の尊重」と「社会への貢献」という理念のもと、「人」への投資を惜しまない「人間性尊重経営」を貫いてきました。2020年からは、長期経営方針「ビジョン2030」の実現に向け、社員個人のパーパス「やりたい、実現したい、挑戦したい、貢献したい」という意思を尊重し、社業を通じて一人ひとりの自己実現が可能な職場環境づくりを推進しています。

HIキャリア制度

当社では、人的資本への投資が会社の競争力を高めるという考えのもと、「人」中心の経営を行ってきました。その取り組みのひとつとして、「個人の強み」をさらに伸ばすため、社員の挑戦をサポートする「HIキャリア制度」を2025年度から導入しています。個人のパーパスの実現、そして働きがい（働きやすさ×やりがい）の向上を目指して、さまざまな施策に取り組んでいきます。

施策			
働きやすさ		やりがい	
新しい働き方	報酬制度	選択	報酬制度
<ul style="list-style-type: none"> ● 長期在宅 ● 裁量型 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベネフィット ● 帰省手当 ● 一時帰国手当 	<ul style="list-style-type: none"> ● キャリアコース ● 勤務エリア ● 自薦昇格 	<ul style="list-style-type: none"> ● 役割手当 ● グローバルインセンティブ ● 昇格昇給

全社員が自律性を持ったソリューションクリエイターとなり、
社会に不可欠な組織になる

各種研修・自己啓発支援

新入社員研修・マンツーマン研修をはじめ、階層別やグローバルに活躍するための研修、一般教養・公開講座、選抜研修などを実施しています。また、通信教育・公的資格補助・語学学習などの自己学習に対する支援制度も整えており、社員一人ひとりの継続的な学びと成長を促しています。

さらに、次世代のHIOKIを支えるリーダー人材育成のため、グローバル人材とマネージャー人材の育成に注力しています。希望者には、入社後の早い段階から公募制の研修への参加や海外赴任への挑戦、役割任用など、さまざまな機会が提供され、将来のリーダーとして必要な経験とスキルを身につけていきます。



社員のチャレンジを支援

社内ジョブチェンジやプロジェクト、新規ビジネス創出、社内ベンチャーなど、新たな役割や課題解決に挑戦する取り組みを進めてきました。

「ビジョン2030」の達成に向け、部署や部門を超えてチャレンジする機会を促進しています。



2年連続「ベストワークプレイス」に認定

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に取り組む企業を認定する「D&I AWARD 2025」において、最上位の認定である「ベストワークプレイス」に認定されました。これからもHIOKIは、全ての人が働きやすい職場環境を実現するためのサポートの拡充や制度の整備を進めていきます。



「人間性の尊重」「社会への貢献」を体現するHIOKIのサステナビリティ

2022年に策定した「サステナビリティ基本方針」を軸に、「HIOKIサステナビリティ宣言」を公表し、再生可能エネルギーの利用や次世代モビリティの活用、地域の緑化推進など、多角的なアプローチで環境保全や社会貢献に取り組んでいます。2024年5月には国連グローバル・コンパクトに参加。ステークホルダーの皆様と共に、持続可能な未来の実現に挑戦し続けます。

サステナビリティ基本方針

HIOKIグループは、「人間性の尊重」「社会への貢献」という理念のもと、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。



電気計測を通してお客様の安全で有効なエネルギー活用を促進し、社会の安心と発展に貢献する



全てのステークホルダーの皆様と、積極的なコミュニケーションを通じて信頼関係を構築する



社会の一員として、社会の発展に役立つ活動や環境保全活動に取り組む

HIOKIサステナビリティ宣言

脱炭素化に向け、以下目標に基づき取り組みを継続。

2025年(創業90周年)

スコープ1、スコープ2の
カーボンニュートラルを達成

2035年(創業100周年)

スコープ3の
カーボンニュートラルを達成

※ スコープ3は、2035年までの目標に向け、できる限り排出権取引に頼らずカーボンオフセットを実現する方針。
 ※ スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
 スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 スコープ3：スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

2024年度のCO₂排出量算定においてスコープ1・スコープ2(マーケット基準)の投資対応型カーボンニュートラルを達成しました。

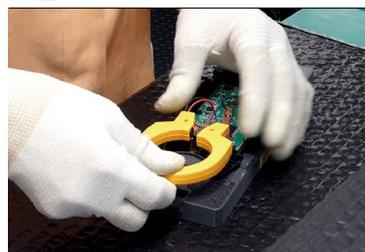


「HIOKIフォレストヒルズ」の脱炭素化

1988年の初植樹以来、「HIOKIフォレストヒルズ」には、これまでに約93,000本の木々が社員の手によって植えられてきました。そんな緑に囲まれた本社一帯では、脱炭素化に向けて、ガスエネルギーからカーボンニュートラルガスへの切り替えや社用車のEV化などを推進。さらに、本社は社屋のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化の検討やソーラーカーポートの導入により、自給体制の構築も進めています。リチウムイオン蓄電設備の活用によって、本社で使用する電気の40%以上をまかない、温室効果ガス排出量の大幅削減を目指しています。



プラスチック再生材の利用を開始



サーキュラーエコノミー実現に向けて、製品に使用するプラスチック成型品において再生材の利用を開始しました。「サーキュラーエコノミーに関する目標」を設定し、2030年までにプラスチックを使用している主要製品の半数を、再生プラスチックを用いた製品にすることを目指しています。2025年には、再生材を最大20%混合したプラスチック成型品を使用して、当社の主力製品であるクランプメータ3280シリーズの製造を開始しました。

資材調達取り組み

サプライヤーとの良好な関係を構築・維持し、健全で誠実な調達活動を実現するため、「資材調達基本方針」を策定しています。また、「グリーン調達ガイドライン」を設定し、地球環境に配慮した資材調達活動にも取り組んでいます。近年では、2009年から毎年開催しているお取引先様を対象とした資材調達方針説明会においてサステナビリティセミナーを実施し、理解促進と意識向上を図っています。お取引先様との相互関係をさらに強化し、持続可能なサプライチェーン構築を目指していきます。



品質協創センターを新設



部品の品質向上とサプライチェーン全体の技術力強化を目指し、HIOKI本社内に「品質協創センター」を開設。部品の信頼性を共同で評価・解析するため、3次元X線CT解析装置などの機器を備えたスペースを整えています。新製品開発における部品評価から量産時に生じた不具合の原因調査まで、お取引先様と密に連携し、より高品質な製品を安定して市場に提供します。また、品質に関する教育プログラムの提供を予定しており、共に継続的な成長発展を目指します。

緑化活動



1995年に始まった、市民と共に緑化を推進する「ふるさとの森づくり」活動や、2021年に調印した「森林の里親協定(にぎやかな森プロジェクト)」のもと、苗木の寄贈や植樹活動を継続してきました。2025年までに、累計約90,800本の苗木を植樹しています。これらの活動を通じて、私たちは森林を単なる緑地ではなく、生態系と人間社会をつなぐ重要な資産と捉えるようになりました。今後も地域と共に自然との共生を推進していきます。

理工学生への奨学金給付

1989年に公益信託フォレストヒルズ奨学基金を設立し、技術者の育成支援および地域社会への貢献を目的として、4年制大学の理工系学部に進学する地元(上田市・坂城町)出身の学生への奨学金給付を開始しました。2005年の財団法人設立後は事業を段階的に拡充し、現在では対象を大学院生や長野県出身の学生にまで広げています。これにより、さらなる学問の深化と研究活動の促進を支援しています。



HIOKI祭り

地域との交流を目的とし、2000年から開催。全社員がホストとなり、多彩なイベントの企画から運営までを担い、地域の皆様をおもてなしする貴重な機会となっています。創業90周年を迎えた2025年には、社員や地域の方々に祭りへの思いや未来の祭りのあり方などを語っていただき、その内容をカウントダウンポスターにして開催9日前から順次展示しました。



海外子会社の活動



台湾日置では、使用しなくなった靴や衣類、かばん等をアフリカの子どもたちに寄付する「舊鞋救命(古靴で救命)」活動に参加しています。日置上海でも、回収したペットボトルを学生服へリサイクルし、経済的に発展途上の地域の学校へ寄贈する取り組みに参画しました。これからもHIOKIグループ全体で、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進していきます。



動画はこちら

公式YouTubeチャンネル HIOKI Japan

HIOKI

日置電機株式会社

〒386-1192 長野県上田市小泉81
TEL:0268-28-0555 FAX:0268-28-0559

最新情報、製品の詳細などは、公式サイトをご覧ください。

HIOKI 



コーポレート・IR



製品・サービス

本書の内容の全部または一部を、
無断で転載・複製することを禁じます。

©2026 HIOKI E.E. CORPORATION